

別紙様式（Ⅳ）

商品名：エクササイズダイエット

健康被害の情報収集体制

健康被害の情報の対応 窓口部署名等	株式会社ディーエイチシー 健康食品相談室
電話番号	0120-575-368
ファックス番号	FAXによる受付は行っていない
電子メール	電子メールによる受付は行っていない
その他	該当なし
連絡対応日時 (曜日、時間等)	9時～20時（日・祝をのぞく）
その他必要な事項	該当なし

(組織図及び連絡フローチャートを添付すること)

商品名：エクササイズダイエット

## 届出食品に関する表示の内容

科学的根拠を有する機能性関与成分名及び当該成分又は当該成分を含有する食品が有する機能性	本品には 3%グラブリジン含有甘草抽出物が含まれます。3%グラブリジン含有甘草抽出物は、肥満気味の方のお腹の脂肪(内臓脂肪)・体脂肪を減らすことをサポートし、高めの BMI の改善に役立つことが報告されています。
一日当たりの摂取目安量	1 粒
一日当たりの摂取目安量当たりの機能性関与成分の含有量	機能性関与成分名：3%グラブリジン含有甘草抽出物 含有量：300 mg
保存の方法	直射日光、高温多湿な場所をさけて保存してください。
摂取の方法	1 日の目安量を守り、水またはぬるま湯でお召し上がりください。
摂取する上での注意事項	原材料をご確認の上、食物アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。
調理又は保存の方法に関し特に注意を必要とするものについては当該注意事項	(有・ <del>無</del> )

※内容量等により表示事項が異なる場合、その内容を全て記入する。

(表示見本を添付すること)

30日シリーズチャック袋/エクササイズダイエット



**30日分**  
ソフトカプセル  
1日1粒目安

**脂肪の減少**  
をサポート

機能性表示食品

機能性  
関与成分 **3%グラブリジン含有**  
甘草抽出物

# エクササイズ ダイエット

**EXERCISE DIET**

※本製品を摂取し、運動もすることで高めのBMIを改善しようという製品コンセプトによるものであり、摂取により運動と同様の効果をもたらすものではありません。

**30日分**  
1日1粒 目安

**高めのBMIの改善に**

**届出表示** 本品には3%グラブリジン含有甘草抽出物が含まれます。3%グラブリジン含有甘草抽出物は、肥満気味の方のお腹の脂肪(内臓脂肪)・体脂肪を減らすことをサポートし、高めのBMIの改善に役立つことが報告されています。

※本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。

■食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

▼ここからお切りください。開封後、端から軽く押さえてください、くりかえし開封できます。

届出番号:000000

## エクササイズダイエット

**30日分**    **1日1粒** 目安    商品番号 **32517**

エクササイズダイエット

<b>栄養成分表示</b> 【1日あたり:1粒480mg】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■名称:甘草抽出物加工食品</li> <li>■原材料名:甘草抽出物(甘草、食用油脂)/ゼラチン、グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル、ミツロウ、カラメル色素</li> <li>■内容量:14.4g(1粒重量480mg(1粒内容量320mg)×30粒)</li> <li>■賞味期限:枠外下部に年、月で記載</li> <li>■保存方法:直射日光、高温多湿な場所をさけて保存してください。</li> <li>■販売者:株式会社ディーエイチシー 東京都港区南麻布2-7-1 製造所固有記号は賞味期限の右側、スラッシュの間に記載</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>熱量 3.1 kcal</li> <li>たんぱく質 0.11g</li> <li>脂質 0.26g</li> <li>炭水化物 0.08g</li> <li>食塩相当量 0.001g</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■機能性関与成分</li> <li>3%グラブリジン含有</li> <li>甘草抽出物 300mg</li> </ul>

**1日摂取目安量** **1粒**    **摂取の方法** 1日の目安量を守り、水またはぬるま湯でお召し上がりください。

**摂取上の注意** 原材料をご確認の上、食物アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。

■お子様の手の届かないところで保管してください。■開封後はしっかり開封口を閉め、なるべく早くお召し上がりください。

■本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。■本品は、疾病に罹患している者、未成年者、妊産婦(妊娠を計画しているものを含む。)及び授乳婦を対象に開発された食品ではありません。■疾病に罹患している場合は医師に、医薬品を服用している場合は医師、薬剤師に相談してください。■体調に異変を感じた際は、速やかに摂取を中止し、医師に相談してください。

DHC お問い合わせ先 **0120-575-368** 9:00~20:00 (日・祭日のぞく) 健康食品相談室  
ご注文は **0120-333-906** <http://www.dhc.co.jp>

32517 01J01

別紙様式 (VII) - 1

商品名：エクササイズダイエット

食品関連事業者に関する基本情報

届出者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者)	株式会社ディーエイチシー 代表取締役社長 高橋 芳枝
届出者の住所 (法人にあつては主たる事務所所在地)	東京都港区南麻布 2-7-1
製造者の氏名(製造所又は加工所の名称)及び所在地 ※複数ある場合、全てを記載	アリメント工業株式会社 新富士工場：静岡県富士市蓼原 889-2 新富士第二工場：静岡県富士市蓼原 1082-1
消費者対応部局(お客様相談室等)の連絡先 (電話番号等)	0120-575-368
情報開示するウェブサイトのURL	<a href="http://www.dhc.co.jp">http://www.dhc.co.jp</a>
届出事項及び開示情報についての問合せ担当部局	部 局：品質保証部 電 話：03-3457-4436

## 届出食品に関する基本情報

商品名	エクササイズダイエット
名称	甘草抽出物加工食品
食品の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 加工食品（ <input checked="" type="checkbox"/> サプリメント形状、 <input type="checkbox"/> その他）、 <input type="checkbox"/> 生鮮食品
錠剤、粉末剤、液剤であって、その他加工食品として扱う場合はその理由	
当該製品が想定する主な対象者（疾病に罹患している者、妊産婦（妊娠を計画している者を含む。）及び授乳婦を除く。）	肥満1度[BMI(Body Mass Index) : 25 以上 30 未満] または正常高値の健康な成人男女
健康増進法施行規則第11条第2項で定める栄養素の過剰な摂取につながらないとする理由	当該製品における1日あたりの摂取目安量において、健康増進法第11条第2項に定められている各栄養素の基準値を上回っている成分はない為、継続摂取しても過剰摂取にはつながらないと考えている。
販売開始予定日	2015 年 11 月 11 日

## 作用機序に関する説明資料

## 1. 製品概要

商品名	エクササイズダイエット
機能性関与成分名	3%グラブリジン含有甘草抽出物
表示しようとする機能性	本品には3%グラブリジン含有甘草抽出物が含まれます。3%グラブリジン含有甘草抽出物は、肥満気味の方のお腹の脂肪(内臓脂肪)・体脂肪を減らすことをサポートし、高めのBMIの改善に役立つことが報告されています。

## 2. 作用機序

3%グラブリジン含有甘草抽出物（以下、関与成分）の作用機序として、脂肪酸分解系酵素の活性促進及び脂肪酸合成系酵素の活性抑制により体脂肪量の低下が起こり、体脂肪量の低下により体重及びBMIの低下が引き起こされていると示唆される。以下に詳細を示す。

BMIが24以上30未満の健康な日本人男女に関与成分を300mg/日を8週間摂取させた際に体脂肪（DXA法）、体重及びBMIが摂取前に比べて共に有意に低下した<sup>[1]</sup>。

BMIが24以上30未満の健康な日本人男女に関与成分を100mg/日を12週間摂取させた際にプラセボ群と比較して体重及びBMIの有意な増加抑制が認められ、かつ体重と体脂肪量の低下の間に有意な正の相関が認められた<sup>[2]</sup>。

これらの結果は関与成分が体脂肪量の低下を介して、肥満気味の成人健常者（BMI:24以上30未満）の高めのBMIを改善することを示唆するものである。以上より、関与成分による肥満気味の方の高めのBMI改善効果の作用機序として、体脂肪量の低下により体重の低下が引き起こされていることが考えられる。一方、関与成分による体脂肪量低下の作用機序として、脂肪酸分解酵素系の活性促進及び脂肪酸合成系酵素の活性抑制によるものであることが下記の研究により示唆されている。

自発的肥満・糖尿病マウス（KK-Ay）に Licorice Flavonoid Oil（機能性関与成分と同等成分である、Kaneka Glavonoid™を食用油脂で希釈したもの。以下、LFO）を4週間投与したところ、用量依存的に体重増加抑制と腹部脂肪量の低減、更には血中グルコースの低下が認められた。また、*in vitro*試験において、LFOはヒト脂肪細胞の分化を誘導することが示された<sup>[3]</sup>。

食餌性肥満マウス（C57BL/6J）にLFOを8週間投与したところ、用量依存的に体重増加抑制と腹部脂肪量の低減が認められた。そこで、脂肪蓄積抑制効果の作用機序を調べるために、DNAマイクロアレイ法を用いて、LFO摂取によって肝臓組織で発現が変化する遺伝子を探索したところ、脂肪酸分解系酵素遺伝子の発現亢進及び脂肪酸合成系酵素遺伝子の発現抑制が認められた<sup>[4]</sup>。

食餌性肥満ラット (Sprague-Dawley) に LFO を 21 日間連続投与したところ、有意な腹部脂肪量の低減、血中インスリン濃度の低下が認められた。更に、肝臓における脂肪合成の律速酵素である ACC (Acetyl-CoA Carboxylase)、FAS (Fatty Acid Synthase) の有意な活性低下、脂肪分解の律速酵素 ACD の有意な活性増加が認められた<sup>[5]</sup>。

食餌性肥満ラット (Sprague-Dawley) に LFO を 3 週間投与したところ、有意な腹部脂肪量の低減、インスリンの低下が認められた。脂肪合成の律速酵素である ACC、FAS の有意な活性低下、脂肪分解の律速酵素 LCAD (Long-Chain Acyl-CoA Dehydrogenase) の有意な増加が認められた。更に、脂肪合成酵素の正の転写因子である SREBP-1 (Sterol Regulatory Element Binding Protein) の活性を有意に低下し、脂肪分解酵素の正の転写因子である PPAR $\alpha$  の活性を有意に増加した<sup>[6]</sup>。

(引用文献)

- [1] Tominaga Y et al, Licorice flavonoid oil reduces total body fat and visceral fat in overweight subjects: A randomized, double-blind, placebo-controlled study. *Obes Res Clin Pract*, 2009, 3: 169-178.
- [2] Tominaga Y et al, Licorice flavonoid oil effects body weight loss by reduction of body fat mass in overweight subjects. *J Health Sci*, 2006, 52(6): 672-683.
- [3] K Nakagawa et al, Licorice flavonoids suppress abdominal fat accumulation and increase in blood glucose level in obese diabetic KK-A(y) mice. *Biol Pharm Bull.* (2004) 27(11):1775-8.
- [4] F Aoki et al, Suppression by licorice flavonoids of abdominal fat accumulation and body weight gain in high-fat diet-Induced Obese C57Bl/6J Mice. *Biosci. Biotechnol. Biochem* (2007) 71(1): 206-214.
- [5] H Kamisoyama et al, Investigation of the anti-obesity action of licorice flavonoid oil in diet-induced obese rats. *Biosci. Biotechnol. Biochem* (2008) 72(12): 3225-3231.
- [6] K Honda et al, The molecular mechanism underlying the reduction in abdominal fat accumulation by licorice flavonoid oil in high fat diet-induced obese rats. *Animal Science Journal* (2009) 80: 562-569.